

令和4年度高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議  
新見部会研修会（第2回）

日時：2023年2月10日（金）18：30～20：30

方法：ZOOMによるWeb研修

参加人数：55名

テーマ：「認知症の方の運転免許」

今回の研修会は、認知症と診断された方の運転免許について、その扱いや当事者への介入、その先の生活のことをどのように考えていけたらよいのかを、実際に携わっている地域の支援者の方々を対象にZOOMを用いたオンライン形式で開催しました。

当日の進行は以下のように行いました。

- ・全体の司会進行 新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく 難波さん
- ・開会挨拶 新見医師会 太田隆正会長
- ・研修
  - 第1部：講演 川崎医科大学付属病院 脳神経外科 久徳弓子医師
  - 第2部：講演 新見警察署 交通課 渡部邦昭課長
  - 第3部：グループワーク
    - 進行：当院 精神保健福祉士 青木
    - まとめ：当院副院長 兒玉
- ・閉会挨拶
  - 高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議 新見部会 土井浩二部会長

第1部では、川崎医科大学付属病院の運転免許外来で認知症の方の運転免許に関する診療を行われている久徳先生より、診断に至るまでとその後について大切なことは何かご講演いただきました。第2部では、新見警察署交通課の渡部課長より、認知症の方の運転の問題に対して警察の介入はどのように行われているのか、また、地域で認知症の方々と関わっている支援者との連携について感じられていることについてお話いただきました。それらを踏まえたうえで、第3部のグループワークではファシリテーターを含めた4～6名を1グループとし、講演の感想や実際に関わったケースから認知症の方の運転免許について日頃感じている事を話し合いました。

今回の研修会では、医療面や司法の観点から「認知症の方の運転免許」について、普段なかなか知る機会のないお話をたくさん聞くことができ、支援者として地域の中で診断を受けた当事者に対して何が出来るのか、運転免許についてどのように考えていくことが出来るのかを深める場になったのではないかと思います。